



坂本龍馬と

碧南市

坂本龍馬は、歴史上最も人気のある人物の1人です。司馬遼太郎の書いた歴史小説「竜馬がゆく」を読んだ人も多いと思います。また、テレビドラマや映画でも頻繁に取り上げられ、最近ではNHK大河ドラマ「龍馬伝」があります。1836年、土佐藩に生まれ、薩長同盟をあっ旋し、大政奉還（徳川幕府が政権を天皇に返上したこと、これによって最小限の犠牲で江戸時代から明治時代に移行できました）を実現した立役者であり、大政奉還成立の1か月後に京都の近江屋で暗殺されました。享年33歳。

実は、この有名な坂本龍馬は碧南市と関係があるのです。龍馬が頻繁に面談を繰り返して、大政奉還の説得に努めた幕臣は永井尚志という人物です。この人物が大政奉還の天皇に

対する奏上文案を作成していることから、この永井尚志の進言によって15代将軍徳川慶喜は大政奉還の決断をしたと思われれます。

司馬遼太郎は「竜馬がゆく」のなかで、この永井尚志のことを次のように述べています。「旗本の名門のうまれであり、幕府の洋学官僚のなかでもずばぬけた秀才である」「実質的には將軍慶喜の秘書官であった。慶喜は永井の温和な人柄とその豊富な対外知識を愛し、重要なことほとんどは板倉伊賀守勝静が、永井主水正尚志に下相談している」

この永井尚志は、歴史的作家・三島由紀夫の父方の高祖父（祖父の祖父）にあたります。すなわち、碧南出身の大名、永井直勝の系列です。尚志は大政奉還実現後、榎本武揚とともに北海道へ行き函館奉行となり、1868年、新政府軍と戦い降伏、その後、1872年に明治政府に出仕し、元老院権大書記官などを歴任、享年76歳。

この時期、倒幕側勤皇の志士として活躍し、その後明治維新の立役者の1人であった岩倉具視の懐刀となつた碧南出身の山中信天翁がいます。150年前の日本歴史の転換期に碧南ゆかりの人物が、幕府側、倒幕派それぞれにおいて、重要な役割を演じていたこととなります。このことも碧南市の貴重な歴史的財産であり、市民の誇りとなるものです。

浄化槽の設置に補助します

問合せ 環境課ごみ減量係

補助額 各人槽ごとの浄化槽の設置費用の4割相当分（1,000円未満の端数は切り捨て）
※補助は予算の範囲内で先着順です。



市では、生活排水による河川の水質汚濁の進行を防止し、生活環境の保全をするため、生活雑排水（台所、洗濯、風呂などの排水）を、し尿と併せて処理する高度処理型浄化槽の設置に対して補助金を交付します。また、合併処理浄化槽への転換に対しても補助金を交付します。

※申請は必ず設置工事前に済ませてください。

対象 主に居住用の建物または延床面積の2分の1以上が居住用の建物に10人槽以下の高度処理型浄化槽を設置する人、転換を行う人

※工事完了時、碧南公共下水道事業認可区域や衣浦東部流域下水道事業認可区域の場合、対象となりません。

対象	人槽区分	補助上限額(円)
浄化槽への転換	5	332,000
	6~7	414,000
	8~10	548,000
浄化槽への転換の際、単独処理浄化槽またはくみとり便槽を撤去する場合	5	422,000
	6~7	504,000
	8~10	638,000
高度処理型浄化槽の設置または高度処理型浄化槽への転換	5	444,000
	6~7	486,000
	8~10	576,000
高度処理型浄化槽への転換の際、単独処理浄化槽またはくみとり便槽を撤去する場合	5	534,000
	6~7	576,000
	8~10	666,000

- 高度処理型浄化槽とは、合併処理浄化槽のなかで放流水の総窒素濃度が15mg/ℓ以下または総りん濃度1mg/ℓ以下の機能を有するものです。
- 転換とは、使用中の単独処理浄化槽またはくみとり便槽を廃止し、合併処理浄化槽を設置する場合をいいます。